

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
北の防人大湊地区

平成29年5月

青森県むつ市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	北洋館入場者数	人/年	5,577	10,400	10,626	確定 見込み ●	○	あり なし	8,198	H 29 年 4 月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標を下回ったが、従前に比べると入場者数は増加しており、周辺整備の効果が現れている。
指標2	認識度調査アンケート	%	19.2	75.0	18.0	確定 見込み ●	×	あり なし ●	21.9	H 29 年 3 月	△	重要文化財に対する関心度が低い。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標から低い水準であるため、改善策の補強が必要である。
指標3	イベント回数	回/年	3	7	8	確定 ●	○	あり なし	—	—	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前に比べるとイベント回数は増えており、周辺整備の効果が現れている。
指標4						確定		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	観光交流センター(北の防人大湊 安渡館)入館者数	人/年	—	/	50,959	確定 見込み ●	/	/	71,015	H 29 年 4 月	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設開館以来、順調に入館者数が増加しており、周辺整備や便益施設の整備による効果が現れている。
その他の数値指標2						確定						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3						確定						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	高齢者、障がい者、市民、観光客など誰もが訪れやすい環境の創出	・景観づくりを考慮した公園施設の維持管理を実施。 ・ボランティアによる花植えなど、市民協働による景観づくりを実施。	・良好な景観の維持保全が図られた。	・大湊の景観づくりに関するルールの普及。 ・景観法に基づく景観計画の策定による景観づくりの推進。
	市民や観光客などの受入れ機能の向上	・ボランティアガイドグループの組織化。 ・周辺散策ルートの設定。	・小学校や中学校の校外授業で北の防人大湊を訪れ、地域についての学習の場となっている。	・ボランティアガイドグループの強化。 ・下北ジオパークとの連携。
	市民や観光客などによる交流人口の拡大	・ホームページやFacebookなどによる広報活動の強化。 ・周辺施設の連携によるスタンプラリーの実施。	・北の防人大湊各施設の入館者数が増加した。	・広報活動の強化。 ・効果的なイベントの実施。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	旧女子寮の保存活用	・財政的に大規模改修は不可能であるため、外部の公開活用に向け、小規模修繕を実施。	・現在、外部の修繕及び周辺の景観づくりに取り組んでいるところである。	・旧女子寮(北の防人大湊 沓番館)の早期公開活用。
	重要文化財に対する認識度の向上	・ボランティアガイドグループの組織化。 ・周辺散策ルートの設定。 ・重要文化財の公開活用に向け、修理事業に着手。	・重要文化財と接する機会を創出した。	・ボランティアガイドグループの強化。 ・重要文化財修理事業の進捗。 ・広報活動の強化。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
重要文化財の認識度向上	ボランティアガイドグループの強化やホームページやSNSによる広報強化のほか、重要文化財修理事業による重要文化財の公開活用により、市民の憩いの場、校外学習や生涯学習の拠点として、市民の重要文化財に対する関心度の向上に努める。	平成29年度～	重要文化財と周辺施設との連携強化。